

## 下町区南側斜面 100 年の森づくり事業

### 取組に至る背景・事業の目的

- 高齢化率 50%を超える根羽村下町区で、一人一役を再認識し、野草が茂りゴミの不法投棄によって荒廃地になっていたかつての地域住民の憩いの場を美しい河川敷として取り戻すために、地区住民の共同作業による整備を継続して進めている。

### 事業内容

- 過去 2 年間の取組で、歩道の整備、山桜の植栽、「百年の森」看板、休憩用のベンチ、足場の悪い斜面歩道部に配慮した木橋を設置し、遊歩道としての体裁は整いつつあるが、さらなる景観の美化をはかるため、平成 24 年度は、山桜の植栽を行った。
- 子供や高齢者に配慮し安全・快適な散策ができるよう、一部の急峻な斜面に階段と転倒防止のための手摺りを設置した。



【山桜の植栽の様子】

### 事業効果

- 地区住民総出の共同作業を通じて住民の絆がより一層深まり、またこれまで以上に地域の景観整備・保全に対する意識、意欲が高まった。
- 事業の実施前は訪れる人がほとんどいなかった荒廃地に村内外から年間約 5,000 人が訪れるようになり、地域の憩いの場を再生することができた。
- 川への釣り客をはじめとする村外からの来村者に景観の良さをアピールすることができた。
- 区内全戸に記念樹を植栽したことにより、家毎でのイベントを楽しむ事ができるようになった。



【遊歩道の整備の様子】

### 工夫・苦労した点、課題、今後の取組など

- 休日の共同作業であり、また力作業を伴うことから特に高齢者の多い地区住民に事業への賛同を得る点で苦労したが、事業を開始すると地区住民の村外の親類など若い力の協力も得ることができ、複数年に渡る一大事業であったが、円滑に事業を進めることができた。
- 今後も、日常のゴミ拾い、草刈りなどきめ細かな景観の整備・維持作業を継続して行うことにより、住民が新たに生み出した地域資源を、村内外へ広くアピールしていきたい。

#### 【選定のポイント】

誰も寄り付かなくなった荒廃地を、地域資源として見出し、複数年度に渡る継続的な地区住民の共同作業による整備を行い遊歩道として再生し、新しい観光資源として、また地域住民の憩いの場として育て上げた。

地区住民の逆転の発想により地域資源を掘り起こし、自ら活動したモデル的取組として評価することができる。

団体名	根羽村下町区	事業タイプ	ソフト・ハード事業
連絡先	0265-49-2111 (根羽村役場)	事業費	646,192円
		支援金額	536,000円